

10年という勤続年数を勘案し

深井人事部長 : 弊社としては、人事制度としてはサバティカルという制度はなかったのですが、今回の申請者がシニアポジションで働いていること、今まで会社へ多大な功績をもたらしたということから、特例で6ヶ月の一部有給のサバティカルを了承しました。

センターピープル : 日本でもリフレッシュ休暇という制度がありますから、このサバティカルが全くの青天の霹靂ということでもないかもしれません。

深井人事部長 : そうですね、今回の件で日本で関係する制度があるかどうか調べてみましたら、このリフレッシュ休暇制度が目に入り込んできました。但しこれは法定外休暇ということで、導入企業は11.7%という数字が出ていました。

このような休暇は、これからの制度としては必要になってくるのかもしれませんが。昔ならば定年が55歳とか、今から比べると比較的の低年齢でリタイアメントの生活を楽しむことが出来ましたが、寿命の伸びと関わる年金受給資格の引き上げなどで勤続年数が長くなってきています。節目節目でのサバティカル、いいアイデアかも知れません。

[前号の会話はここを"クリック"](#)



そのときお役にたちます！

センターピープルの人材紹介部門にすぐにコンタクトを（英国、欧州）

電話 : +44(0)20 7929 5551

メール : japan@centrepeople.com